

日本会議 愛知県本部  
〒464-0836  
愛知県名古屋市千種区菊坂町3-5-302  
E-mail: tokai-seikyo@mtc.biglobe.ne.jp

TEL:052-763-4678  
FAX:052-763-4588



# あいち通信 第七十九号

## 平成二十八年新春役員総会を開催

去る一月二十六日、日本会議愛知県本部の新春役員総会が、熱田神宮会館で開催された。先ずは、開会前に熱田神宮の御垣内参拝を行い、記念撮影。続いて、南部文宏愛知県議会議員の司会進行で開会。国歌斉唱、綱領唱和に続き、重富亮氏(愛知県本部会長)より開会の挨拶。来賓を代表して藤沢忠将氏(名古屋市長)より挨拶、公職者の自己紹介と続いた。公職者は県議三名、名古屋市議二名、他市町議員一名、国會議員秘書四名であった。次に、百田尚樹氏総指揮による憲法改正啓発映画の予告編を上映。訴求力のある映像に全員が見入った。この映像はDVDとなって全国に普及されることとなる。次に、枕島有三氏(日本会議事務総長)より、国民の会報告として、憲法改正を巡る今日的課題が話され、国会における憲法改正の動向詳細と、今後の国民運動の方向性を明示していただいた。続いて事務局より、昨年の運動報告と本年の運動計画が発表され、特に本年は、憲法改正賛同者拡大の徹底、憲法改正啓発映画の普及、参議院選挙支援などを全力で取り組むことが全員で確認された。最後に、服部憲明氏(神道政治連盟愛知県本部会長)より、閉会の挨拶があり終了。その後の懇親会では、各自より抱負が述べられ、和やかなうちに散会となった。

(愛知県本部 事務局長 服部守孝)



## 東海ともみ組 発足パーティー参加報告

去る一月二十三日、名古屋マリオットアソシアホテルにおいて「衆議院議員 稲田朋美さんを囲む会 東海ともみ組発足記念パーティー」に参加させていただきました。稲田氏は十年前に福井一区から選挙に出られ、「伝統と創造」の政治理念のもと、連続四回の小選挙区当選を重ねられました。その間、国政での活躍はめざましく、平成二十四年末に誕生した第二次安倍内閣では行政改革・規制改革・公務員制度改革やクールジャパン戦略担当大臣などをつとめ、長年の懸案であった公務員制度改革を断行して内閣人事局を創設するなど大きな成果を上げられました。また、昨年九月には自民党政務調査会長に就任し、党の政策責任者となり、大臣時代に提言した農業改革や財政再建など様々な重要課題を党の立場でまとめるにあたり、持ち前の突破力で手腕を発揮され、今年十月の党役員人事において、引き続き政務調査会長の重責を担うこととなりました。今や安倍政権を支える重要な役割を担っておられる稲田氏の活躍と飛躍が期待されています。

パーティーは、まず会場入り口で稲田氏ご本人と金美齡氏らが並び参加者一人一人と握手をしてお出迎えいただきました。君が代斉唱、自民党歌斉唱の後、九州ともみ組、福井ともみ組の代表者の挨拶を皮切りに、松浦光修皇學館大学教授、藤川政人参議院議員、神田憲次衆議院議員から挨拶をいただきました。そしてご本人から挨拶をいただき、その後金美齡氏から挨拶をいただきました。乾杯の後には、稲田氏ご本人が各テーブルをまわり参加者との親交を深めていました。我々のテーブルは、終わりの方であったためひとつ前のテーブルまで稲田氏ご本人が来たところで締め時間となつてしまいました。残念。最後は森藤左門日本会議愛知県本部理事長に締めの挨拶をいただきました。参加者退場の際も、稲田氏ご本人が、出口に立ち一人一人と握手をしてお別れしました。帰宅後には早速「ともみ組」の入会申込書を記入し、入会の手続きをしました。(愛知県本部 事務局 松川秀康)

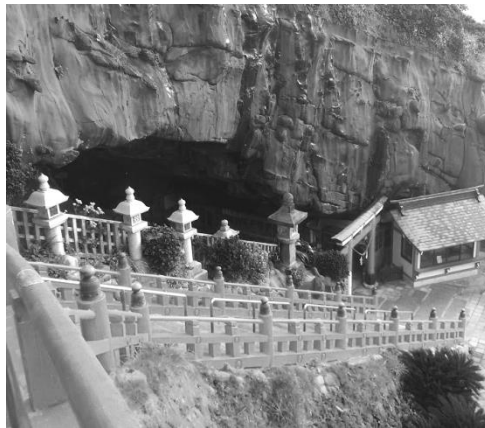


## 報告・名古屋東部支部第二十八回 街頭演説活動実施!

●開催日時 一月二十四日(日) 午後一時〜午後三時 ●会場 昭和区 御器所交差点 南西角地 ●会費 無料 ●参加者数 四名 ●内容 街頭演説活動「自主憲法制定について」：厳しい寒さを感じる天候でしたが従来通り「自主憲法制定」について各弁士がしっかりと訴えさせて頂きました。「現行憲法にはどのようなようにして国民を守っていくかがどこにも書かれていない。有事の際に国民の生命・安全を担保していくためにも自主憲法を制定し、自主防衛の意思を示していくことが大切だ」「軍隊を持たない国家は真の意味での独立国とは言えない。やはり九条二項を改正して国防軍を創設すべきである」など緊迫している国際情勢を考慮した上での訴えとなりました。そして、今年には国政選挙が行われる年であり、今一度私たちが自主憲法制定の議論を深めていくことが大切である事も訴えました。また街頭活動終了後、近くに喫茶店にてミーティングを行い、現在の支部活動に憲法改正チラシのポスティングを加えることを確認しました。☆次回予定 二月二十一日(日) ●内容 街頭演説活動「自主憲法制定について」 ●場所 御器所交差点周辺 ●時間 午後一時〜午後三時 ※終了後、ミーティングを付近の喫茶店にて行う予定です。 ●お問合せはメール (kakehashi.katou@hotmail.co.jp 加藤貴之宛)までお気軽に「連絡の程、宜しくお願ひ致します。(名古屋東部支部 事務局長 加藤貴之)

陵墓参拝記 その十三

西日本巡礼の旅、七日目、まず民宿での朝食前に鶴戸神宮を参拝しました。御祭神は神武天皇のお父君、鸕鷀草葺不合尊です。大きな洞穴のなかに本殿があります。とても神秘的な雰囲気です。言い伝えでは、豊玉姫は産屋をたてて鸕鷀草葺不合尊をお産みになったと、山幸彦に出産の姿を見られ海に戻る際にお乳を置いていかれたというお乳岩からは今なお「おちち水」がたたり落ちています。二礼二拍手一礼。



参道を戻り民宿に向かつて歩いていくと吾平山上陵、鶴戸陵墓参考地の看板を発見。宮内庁公認の鸕鷀草葺不合尊の御陵は鹿屋市の吾平山上陵ですが、ここにも伝説があるため参考地とされたわけです。ここはノーマンチックでした。この時点では例の便利サイトには載っていないからです。迷わず山向かい階段を昇って行きました。五分ほど登り汗がにじみ始めたあたりには御陵がありました。二礼二拍手一礼。

そして再び海岸線に戻り北上すること三十分、青島神社に到着。御祭神は山幸彦と彦火火出見命です。青島は島全体が国の特別天然記念物に指定されているそうです。歩いて橋を渡り参拝しました。二礼二拍手一礼。

更に北上して宮崎市街地に入りまして。そして宮崎神宮を参拝しました。御祭神は神日本磐余彦尊すなわち神武天皇です。二礼二拍手一礼。

宮崎神宮から北東に五キロほど行くと江田神社があり江田神社の北には阿波岐原があります。そもそも地名が宮崎市阿波岐原町です。伊邪那岐尊が禊をされた筑紫の日向の橘の小戸の阿波岐原がここなのです。周囲三百メートルくらいの池です。池の水に触れ、右目、左目、鼻と触ってみました。伊邪那岐尊の追体験ができたようでとても神聖な気持ちになりました。江田神社の御祭神はもちろん伊邪那岐尊です。二礼二拍手一礼。



それからまた北上し西都市にはいりました。鹿野田神社を参拝しました。この御祭神は山幸彦と彦火火出見命ですが、御神体として潮満珠と潮干珠をお祀りしています。そう釣り針を素直に受け取らない海幸彦をこの二つの珠で懲らして従わせたものです。更に境内には潮ノ井という井戸があり、その井戸の水は海の満潮、干潮と同じように水位が変わるといいます。神社は今の海岸線からは十キロほど内陸にあるのですが、この地点で井戸の水が海の干満と同じであるとは驚きです。井戸水は塩水です。

事務局日誌(一月) 服部守孝

飲用しても、浴用してもいるような効能があるそうです。二礼二拍手一礼。 (愛知県本部 事務局 松川秀康)

一日(金)穏やかな元日を迎えた。家族揃って氏神様に初詣。憲法改正元年を祈願。 四日(月)今日から仕事始め。年賀状や郵便物の整理などをして過ごす。

七日(木)愛知県議会へ。要路の具議と面談し、憲法改正の趣旨説明を行った。

十日(日)愛知縣護国神社清掃奉仕。洗刺とした青年二名が初参加され嬉しかった。

十七日(日)関西国際空港より台湾高雄へ。台湾南部を訪ねる三泊四日の格安ツアーに参加。昨日の総統選挙の余韻が残る高雄市内を散策。高雄市内ホテル泊。

十八日(月)南投県の烏山頭水庫(八田ダム)へ。六年前にも訪れたが、見違えるほど周辺整備が進んでいた。八田与一氏の銅像とお墓に手を合わせる。その後、日月潭にも立ち寄り、台中へ。知己の友人と再会し、総統選挙祝勝会。台中市内ホテル泊。



愛知県護国神社清掃奉仕予定

- 3月6日(日)午前8時開始、9時終了予定。
■引き続き4月3日(日)午前8時開始とします。
■軍手を必ずご持参ください。また、小雨なら社殿の木杵拭きをしますので雑巾をご持参下さい。大雨は中止になりますが疑わしい天気の場合は、現場責任者の服部宛、電話(070-6583-4588)を下さい。
★2月7日は、13名の方に参加していただきました。内1名の方が初参加でした。ありがとうございました。



(2月7日 奉仕後に撮影)

●「日本の息吹」を引き続きご購入くださいますようお願いいたします。



十九日(火)台中市内にある宝覺寺へ。境内には、大東亜戦争に従軍して亡くなった台湾軍人、軍属を祀る慰霊碑が建立されている。「靈安故郷」の題字は李登輝閣下の揮毫。 実は平成十九年、この慰霊碑の焼香台に、名古屋の有志がお地藏さま(日台友好地藏)を奉納したことがあった。久しぶりに対面し、当時から思いついて懐かしかった。その後、彰化県鹿港へ。この町は、客家人特有の赤レンガの街並みが保存されている。地元小学生一団と遭遇。みんな人懐っこく、「コンニチワ」アリアガトウ「オイシイ」と日本語を連発して歓迎してくれた。台南へ移動し、日本統治時代からある「林百貨店」を見学。高雄市内ホテル泊。

二十日(水)高雄空港より始発便で関空へ。何とサブライズあり。航空会社カウンターでチェックインすると、

エコノミーがオーバーブックングのため、ビジネスクラスに変えるとのこと。人生初のビジネスクラス搭乗と相成った。人間正直にやっておれば、どこかで「褒美」があるものだ。一人合点。利用した航空会社はエアーエアーだったが、奇しくもこの日、グループ創業者の張榮発氏が逝去された。張氏は、先の東北大地震に十億円の義援金を出された方であり、翌年には、日台交流の事跡が評価され、旭日重光章を授章されている。張氏の遺志に微力ながらもお応えせねば、心に刻んだ。

二十三日(土)稲田朋美自民党政調会長を囲む会に参加。会場は三百名を超える支援者が集まった。

二十六日(火)日本会議愛知県本部新春役員総会を開催。役員ならびに公職者の方々三十名にご出席いただき、平成二十七年運動報告、二十八年運動計画につき審議した。

二十七日(水)李久惟さん(拓殖大学講師)が来名され、熱田神宮を一諸に参拝。李さんは、台湾高雄市出身で、現在は語学講師や著作活動をされているが、昨年は、台南の飛虎將軍廟にゼロ戦を冠したお神輿を奉納することにも尽力された青年である。参拝後は、八田与一氏のお孫さん、八田修一さんとの昼食会もご相伴に与った。